

編集後記

東日本大震災から6年が経とうと
 している中、震災からの真の復興に向
 け、昨年より「復興・創生期間」へと
 次のステージに移りました。それに呼
 応するかのように、東京オリンピッ
 ク・パラリンピックやラグビーワール
 ドカップ2019の開催に向けて、東
 京のみならず東北地方にも震災直後に
 比べ、多くの外国人観光客が訪れてい
 ます。世界中が日本に注目している中
 で、「復興・創生」に建設業が大きく
 貢献していると感じながら今号を読ん
 でいただけたら幸いです。(K)

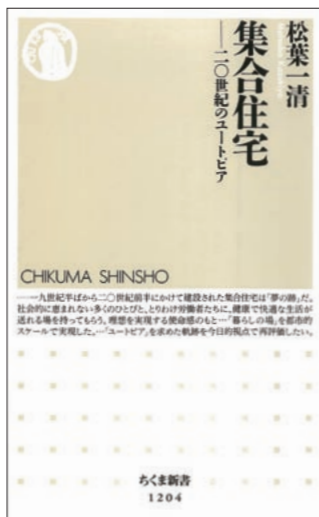
今号のけんせつ小町の取材では、大
 阪府茨木市へ行きました。JR 京都線
 の高槻駅で電車を降りようと扉の前に
 立ったらびっくり！プロレスリングに
 張ってあるワイヤーロープのようなも
 のが、真上に向かっていくのです。初
 めて見る光景に呆気にとられてしま
 いました。調べてみると、昨年に導入し
 たばかりの「昇降式ホーム柵」とのこ
 と。従来のものより低コストで、ホー
 ムドア未設置の駅への普及を目指して
 いるそうです。安全確保は業界問わず
 最優先事項ですね。(M)

発行 一般社団法人 日本建設業連合会
 〒104-0032
 東京都中央区八丁堀2-5-1
 東京建設会館
 TEL 03-3553-4095
 FAX 03-3551-4954
 URL <http://www.nikkenren.com/>
 発行者 有賀長郎
 企画・編集 一般社団法人 日本建設業連合会
 広報委員会
 制作 株式会社Kプロビジョン
 デザイン 株式会社コンセント
 印刷 株式会社耕文社

©2017 日本建設業連合会
 「ACE建設業界」は日本建設業連合会の登録商標です

年間購読料：4,800円(送料込)

新刊紹介



集合住宅
 — 20世紀のユートピア

ちくま新書

十九世紀半ばから二十世紀前半に
 かけて世界中で建設された集合住宅
 は、庶民（とりわけ労働者たち）にも
 快適な生活を行きわたらせようと
 う強い信念に支えられていた。加速
 する工業化と並行する形で資本家・
 政治家・官僚・建築家たちの知恵を
 結集し、大規模かつ精力的に展開さ
 れた集合住宅の建設計画。そのいわ
 ば「夢の軌跡」は、フランクフルト、
 ウィーン、アムステルダム、パリそ
 して日本でも見ることができ。こ
 の「夢の軌跡」を徹底的に現地調査

し、今日的視点で再評価したのが本
 書である。
 筆者は調査を通し、貧富の格差拡
 大の警鐘が鳴らされる今日、ヨーロ
 ッパ各地で「ユートピア」をめざし
 た二十世紀の集合住宅が見直されつ
 つある状況が、いつの日か、公共住
 宅復権の歯止めにつながる期待を
 高まらせている。そして、「ユート
 ピア」を構想した時代の「夢の軌跡
 としての集合住宅」には、二十一世
 紀の今だからこそ、学ぶべき教訓が
 詰まっていると結んでいる。

著者：松葉一清
 発行：株式会社ちくま新書
 仕様：新書判 254ページ
 定価：820円(税別)